

瑞穂市図書館だより

「読書のまち みずほ」をめざして、子どもの読書活動を推進しています。

2023. 06第85号

本館 058-326-2300

分館 058-328-7070

6月と言えば梅雨。雨が続きじめじめとする日が多く、気持ちよく外にお出かけすることが難しい季節です。そんな時期には、図書館を利用して家でゆっくりと本を読む、なんていう過ごし方はいかがでしょうか。

今月は分館で「絵本作家ひぐちみちこさん講演会」を開催します。詳しくは館内ポスターや図書館HPをご覧ください。

6月のイベントカレンダー

<https://www.library-mizuho-gifu.jp>

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3 ＜分館＞ おはなしの会	
4	5 休館日	6	7	8	9 ＜本館＞ おはなしの会	10 ＜分館＞ おはなしの会
11	12 休館日	13	14	15	16	17 ＜分館＞ おはなしの会
18	19 休館日	20	21 ＜分館＞ 絵本作家 ひぐちみちこさん 講演会	22	23 ＜分館＞ おはなしの会	24 ＜分館＞ おはなしの会
25	26 休館日	27	28	29	30 休館日	

	「おはなしの会」 「未就園児向けおはなしの会」 「映画鑑賞会」	【分館】 毎週土曜日 14:30～ 絵本フロア 【本館】 第2金曜日 10:30～ 2階・学習室 【分館】 第4金曜日 10:30～ 絵本フロア 【本館】 5/21、9/17、12/17、3/17 14:00～ 2階・学習室 定員20名
--	---------------------------------------	---

新刊PICKUP!

一般・児童



『サーカスの子』

本館所蔵

稲泉 連//著 <779.5/イ>

かつて日本にあった「キグレサーカス」。夢と現（うつつ）が混ざり合った場所でした。幼いころ炊事係をする母と共にここで過ごした著者は、40年近い歳月を経て、失われた風景を残しておきたいと、在籍していた芸人たちを訪ねます。華やかなショーの裏側、芸人たちの生涯など、サーカスの貴重な記録でもある1冊です。



『12歳までに知っておきたい言い換え図鑑』

分館所蔵

齋藤 孝//著 <児/809/サ>

あなたは、思ったままを口にして誰かを傷つけてしまったり、そんなつもりで言っていないのに友だちとケンカになってしまった。ということがあるかな？そこで、口に出す前に「どう伝えたらいいかな」と考えて「言い換える力」を身につけよう！この本では、5のステップがあるよ。参考にしてみてね。

※他にもまだまだあります♪ 一般(毎週土曜日発行)・児童(隔週土曜日発行)の新刊案内をご覧ください。両館お取り寄せできます。貸出中の場合は、予約できます。お気軽にお尋ねください。



『庭時間が愉しくなる雑草の事典』

本館所蔵

森 昭彦//著 <627/モ>

朝ドラ「らんまん」で注目(?)の雑草。ひと口に雑草といっても、庭に招き入れたい愛らしいものから、生命力抜群の超難敵までさまざまです。本書は、そんな雑草130種類を園芸植物に華やぎを添えるもの、寂しい日陰を彩ってくれるもの、厄介な難敵と分けて紹介しています。雑草の素顔を知れば見方が変わるかも。



『なんにもおきないまほうのいちにち』

両館所蔵

ベアトリーチェ アレマーニャ//作 <E/ア>

ここは、おやすみのたびにママといっしょにくる家。ぼくはなんじかんもゲームして火星人をやっつける。ママにとりあげられたゲーム機をこっそりとりかえして、雨の日にわにだした。ゲーム機をポケットにしまって、石から石へとびうつたその時、「ポッチャン！」うそ、うそだよね！！

本館 テーマブック

今月のテーマ

『大人が楽しむ事典・図鑑』

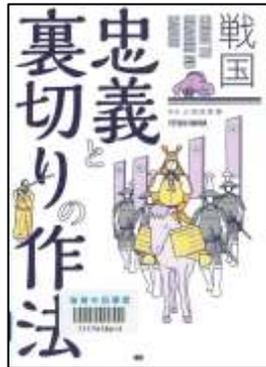
前編

事典・図鑑のほかに、イラストや写真を中心にした読みやすそうな本を集めました。前編では雑学、歴史、文化、動植物など〇類から4類までの本をご紹介します。あなたがまだ知らない新たな世界をのぞいてみませんか。

『絶滅危惧動作図鑑』

敷本 晶子 // 著

<049 ㍲> 本館所蔵



『招き猫百科』

荒川 千尋 // 文

板東 寛司 // 写真

<387 ㍲> 本館所蔵



『江戸の植物図譜』

細川 博昭 // 著

<472.1 ㍲> 本館所蔵

『戦国忠義と裏切りの作法』

小和田 哲男 // 監修

<210.4 ㍲> 本館所蔵



分館 テーマブック

今月のテーマ

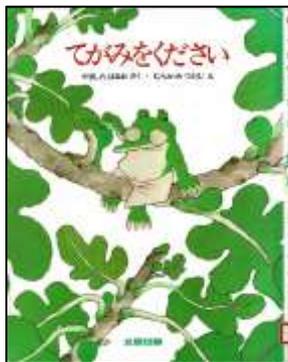
『雨・水・ケロケロかえるの本』



『てがみをください』

両館所蔵

やました はるお // さく むらかみ つとむ // え <E/ム>
手紙が届いていないか、ぼくんちのポストをのぞいたら、中になんとかえるが一匹。どうやら、ここを新しいすみかに決めたい。翌日またのぞいてみると、ぼくへの手紙を読んでいた。それは、あてなの人のものだよと伝えと、どうしたら自分にも届くのか聞いてきた…。さてさて、かえるのもとに手紙は届くのでしょうか。

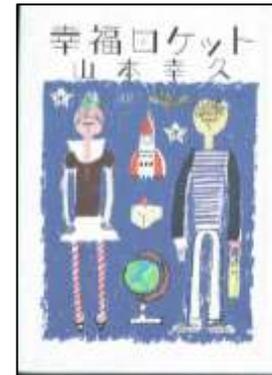


リブ
L・I・B

ヤングアダルト

YA向け

おすすめの本



『幸福ロケット』

本館所蔵

山本 幸久 // 著 <913.6/ヤ>

父親の転職のため、下町のお花茶屋小学校に転校してきた小学5年の香な子。隣の席にいたのが、コーモリこと小森だった。ある日、お嬢様グループの町野さんから、小森との仲を取り持ってほしいと頼まれたことで、コーモリの存在が大きくなっていく。将来のこと、父親のリストラ…悩みながら大人へと成長していく香な子の、甘酸っぱい初恋未満物語です。



『死神うどんカフェ1号店』

両館所蔵

石川 宏千花 // 著 <児/913/イ>

希子は、中2の夏溺れていた子どもを助けようとした時、自分も命を落としかけ、クラスメートの三田亜吉良に助けられた。それ以来心は死んだまま…。そんな希子の前に、高1になったある日「死神うどんカフェ1号店」があらわれた。世慣れない店長と店員たち、そして、そこには今も意識不明の重体の亜吉良の姿があった。しかも希子にしか見えないのだという…。

本の中から...

ある日、返却された本の中を見ていると、ひらりと「なにか」が落ちました。拾ってみると、それはお子さんが書かれた大切なお手紙でした。ちゃんと持ち主の方にお返しできるかな？と不安になりましたが、名前が書いてあったのでお返しすることができました。

このように、返された本の中に「なにか」が挟まっていることがあります。図書館の本を返される際は、挟んだものを取り忘れないように、今一度ご確認くださいね。

